



長友よしひろ

立憲民主党 [衆議院]
神奈川県第14区総支部長

【新】神奈川県第14区



中央区
緑区
清川村
愛川町

日本を
変えるために!!

立憲民主党最高顧問 野田佳彦 元総理に聞く!

衆議院神奈川14区総支部長

聞き手 **長友よしひろ氏**



物価高…増税…

国民生活が疲弊しています。 恩恵のある分配政策が必要です。

衆議院神奈川14区総支部長の長友よしひろ氏が野田佳彦元総理に経済政策や今後の野党の在り方について聞きました。

国民生活は待ったなし!

【長友】物価高を始めとして国民生活や現場の経済は疲弊しています。現場に対する手当が必要。同時に、将来に対する安心感が重要です。つまり「生活を下支えする支援策」と「未来を見据えた積極的な人への投資」です。それが感じられない政府の対応と言えらると思います。

【野田】今、株価は絶好調です。しかし、国民の暮らし生活実感からすると、経済が好調とはとても思えない。可処分所得が増えています。賃上げは春闘で上昇しましたが、それ以上に物価が高くなっている。加えて、更に値上がりする品目が増える見込みであることから、生活感は一層厳しくなります。

これはまさにアベノミクスのトリクルダウンが起こっていないと言えます。やはり、トリクルダウンという考え方が間違っているのです。円安を進めて輸出型の大きな企業が儲ければ、それが設備投資に回り、賃金上昇に回るかという考え方はです。

【長友】結果、大企業の内留保は500兆円を超えて、10年連続で過去最高を更新しています。【野田】私は予算委員会です。岸田さんに「コップ酒

に並々酒を注いでも下の受け皿までもこぼれてこない」というこの大衆酒場の話からトリクルダウンは起きていない。だとするとトリクルアップが必要だと政策転換を求めました。

つまり、恩恵が当たっていない生活者、非正規の方とか中小企業や地方の現場にサーチャイトを当てた分配の政策をすることです。この人たちがもう少し潤って、将来に対する安心感が出てきたときに、消費喚起につながります。

それがトリクルアップ、つまり成長につながります。【長友】そういう政策をもっと大胆に打ち出していくべきだと思えます。ですが、今の与党ではできないですね。

【野田】それは、今までの否定につながりかねないことだからできないのです。

元神奈川県議会議員(愛甲郡選出)

馬場学郎さん

長友さんは愛川町・清川村のお隣で同様に山間部を抱える相模原市緑区選出の県議でしたので、私は無所属でしたが県議当時一緒に山の整備や水を守り、農を支える施策を推進する仕事をしました。

取り分け台風被害や土砂災害への対応、鳥獣被害への取り組み強化など率先して取り組まれていました。また、リニア橋本駅設置に伴う私の母校である相原高校の移転にも尽力してくれました。私たちは自然を後世に



アベノミクスは道半ばと云っているようでは無理です。

だからこそ、我々(立憲民主党)が経済政策は失敗だと言いつつ切るところから始め、トリクルアップを提案して取り組むことが必要なのです。

【長友】日本の企業数の99.7%を中小企業・小規模事業者が占めています。やはり、「生活の現場」「仕事の現場」「地方の現場」にお金の回る仕組みに変えることが必要ですね。

今のデータラメな「政治とカネ」の問題のウミを早く出し切り、国を立て直すために戦っていきたいと思います。

衆議院小選挙区の区割りを変更となりました。



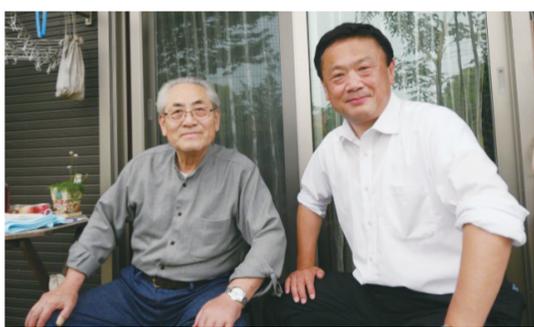
【新】神奈川県第14区

中央区
相模原市
緑区
愛川町
清川村
愛甲郡

残していかなければなりません。そして、愛川町や清川村は命の源である山や水を守り続けなければなりません。森林環境税が今年度から始まりますが、市町村への配分の人口割比率は見直しが必要。その為にも現場を知っている長友さんに期待するところです。

また、生活の基盤である交通の確保も私たちの地域には不可欠です。効率化やコスト削減から国はコンパクトシティ化を目指していますが、それだけではコミュニティが崩壊します。それ以前に現場では交通弱者の足の確保と交通ネットワークを充実させることが不可欠です。

長友さんは竹を割ったような性格の方です。地方の現場の議員を長く務めて来た立場から、現場を見て、声を聞いて、それを国政に届けて、改善に取り組みる人物です。



RIKKEN MINSHU 号外 2024.5.20

立憲民主 The Constitutional Democratic Party of Japan PRESS

神奈川県第14区総支部長
長友よしひろ 事務所
多様性を認め合える一人に優しい政治を
〒252-0143 相模原市緑区橋本3-17-5 わかばビル603号
TEL.042-779-1377 FAX.042-779-1378
E-mail:office@nagatomo.biz

今の政治では日本がダメになる

だから、具体的な提案を持って

活力ある、持続可能な地方の実現のために 長友よしひろの取り組み

リニア車両基地への駅設置を目指します!!

相模原市緑区鳥屋地区にリニア中央新幹線の車両基地が建設されます。車両基地から回送線が品川駅に（橋本駅経由で）向かいます。

この回送線を旅客化し、鳥屋地区への新駅設置を目指しています。県議会でも幾度となく取り上げました。本村相模原市長、黒岩県知事からも前向きな回答を得ています。

JR西日本の福岡にある新幹線博多総合車両所と博多駅間で引き込み線（回送線）を旅客化した「博多南駅」があります。駅設置に至った経緯や現状をいち早く調査もしました。

実現すれば津久井地域だけでなく近接する宮ヶ瀬地区や半原地区の利便性も向上します。バスなどの交通ネットワークも構築できることが想定されます。

これまでの経緯を踏まえ、国政でも取り組みます。



土砂災害を防ぐために取り組み!!

近年、土砂災害が各地で起きています。静岡県熱海市で大雨に伴って盛土が崩落し、大規模な土石流災害が発生したことから通称「盛土規制法」が昨年5月施行されました。しかしながら、各自治体が条例化するまでに2年の猶予期間があります。つまり、この間は旧来の基準となり、現状の計画などが進んでしまう可能性があります。

そこで、後藤祐一代議士と共に愛川町近接の相模原市の土砂条例を盛土規正法並みの厳しい基準へ引き上げることを何度となく求めてきました。交渉の結果、本村市長の英断で昨年10月に条例規則を先行改正し、法同様の基準引き上げが実現しました。

長友よしひろ 国政の未来を語る会in愛甲郡 (愛川町・清川村)

ゲスト



衆議院議員
後藤祐一さん



神奈川県議会議員
佐藤圭介さん

愛甲郡で初めての集会を開催します。デタラメな政治を変えるべく、皆様からのご意見を伺う会です。愛川・清川から挑みます。どなたでも参加できます。お気軽にお越し下さい。お待ちしております。

日時：令和6年6月16日(日)

開場 / 午後2時 開始 / 午後2時30分

場所：愛川町立 文化会館 3階 大会議室

参加費、事前申込はありません。お問い合わせ先…長友よしひろ事務所042-779-1377

郵便はがき

2 5 2 0 1 9 0

相模原市緑区橋本3-17-5
わかばビル603号

立憲民主党 [衆議院]
神奈川県第14区総支部
長友よしひろ事務所行

料金受取人払
相模原橋本局 承認
0147

差出有効期間
2025年11月11日まで

(切手の貼付は不要ですが「お金の掛からない政治」実現のため63円切手を貼って投函下さいますと幸いです。)

現状の政治に対するご意見を教えてください。

お名前 _____

ご住所 _____

電話番号 _____

※無記名でも構いません



長友よしひろプロフィール

昭和45年(1970年)12月 相模原市生まれ。
相模原市立大沢小→市立大沢中→神奈川県立弥栄西高一法政大学卒。
大学入学と同時に衆議院議員(当時)藤井裕久先生事務所入所。以後、約9年間の秘書時代を通し現場の政治を学ぶ。公設秘書を最後に退職し、平成11年28歳で相模原市議会議員に当選。2期務めた後、神奈川県議会議員4期。令和3年の衆議院選にて11万6273票いただくも落選。再起に向け活動中!!



愛川町・清川村でも街頭演説を実施中。ご意見もお気軽にお寄せ下さい。



県議会で一緒に仕事をした佐藤圭介県議と共に地域課題に取り組みます。



地域の行事にも積極的に参加。消防団員経験者として消防団活動を応援しています。

立憲民主党神奈川県
第14区総支部長として
国政改革に向けて活動中!



長友よしひろLINE公式アカウント。是非ご登録をお願いします。